

2020年12月期第1四半期 決算説明資料

～想いを世界に、GMOリサーチ～

GMO RESEARCH

STOCK CODE : 3695

代表取締役 細川 慎一
取締役 森 勇憲

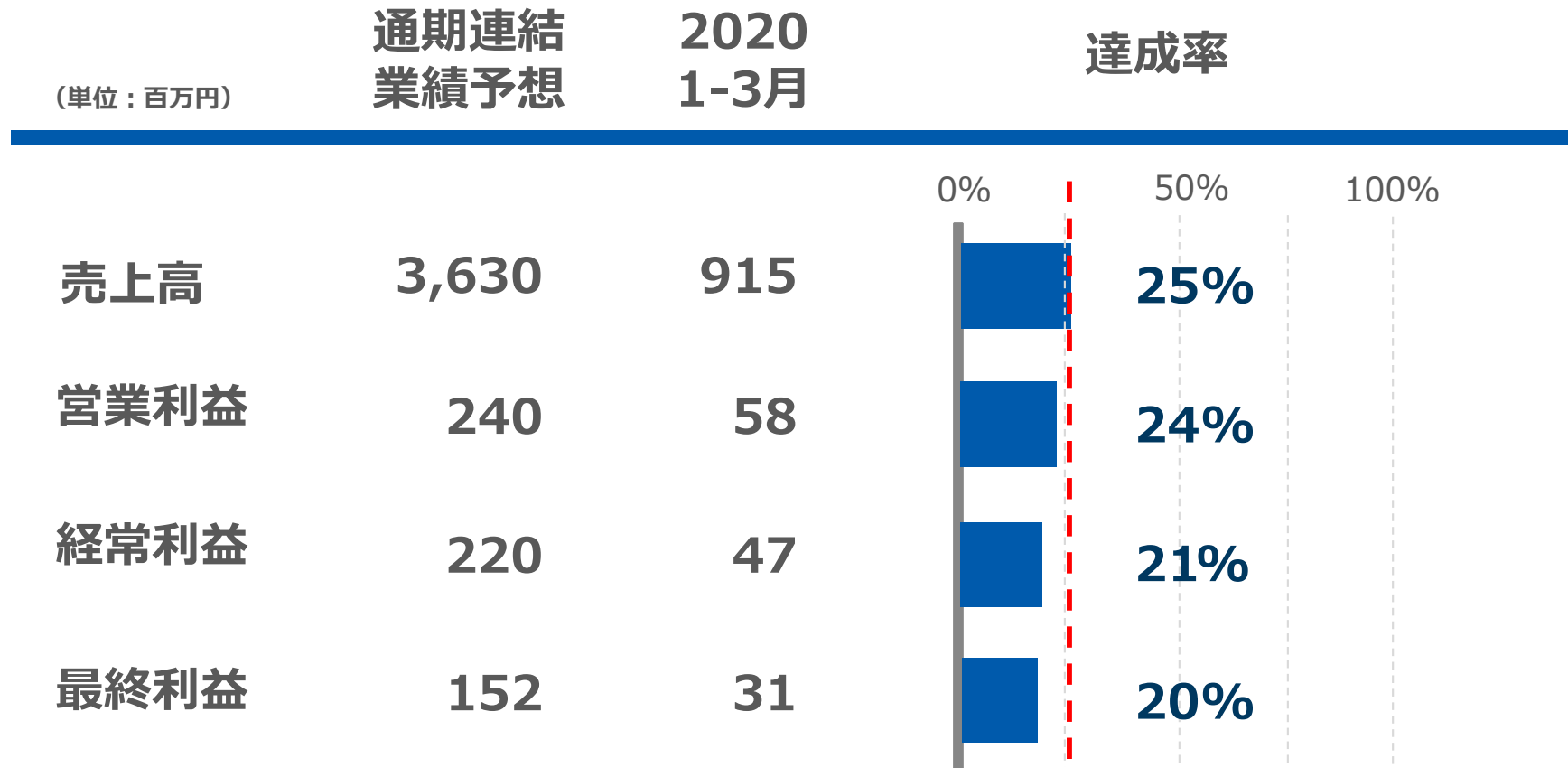
- 1 2020年12月期 1Q決算概要
- 2 2020年事業戦略
- 3 <参考資料>

1 2020年12月期第1四半期決算概要

- 売上高成長率は+13.5%
- 経常利益・最終利益は、為替影響により前年比マイナス

(単位：百万円)	2019 1-3月	2020 1-3月	前年同期比 増減率
売上高	807	915	13.5%
営業利益	57	58	1.9%
経常利益	56	47	-15.3%
最終利益	40	31	-24.0%

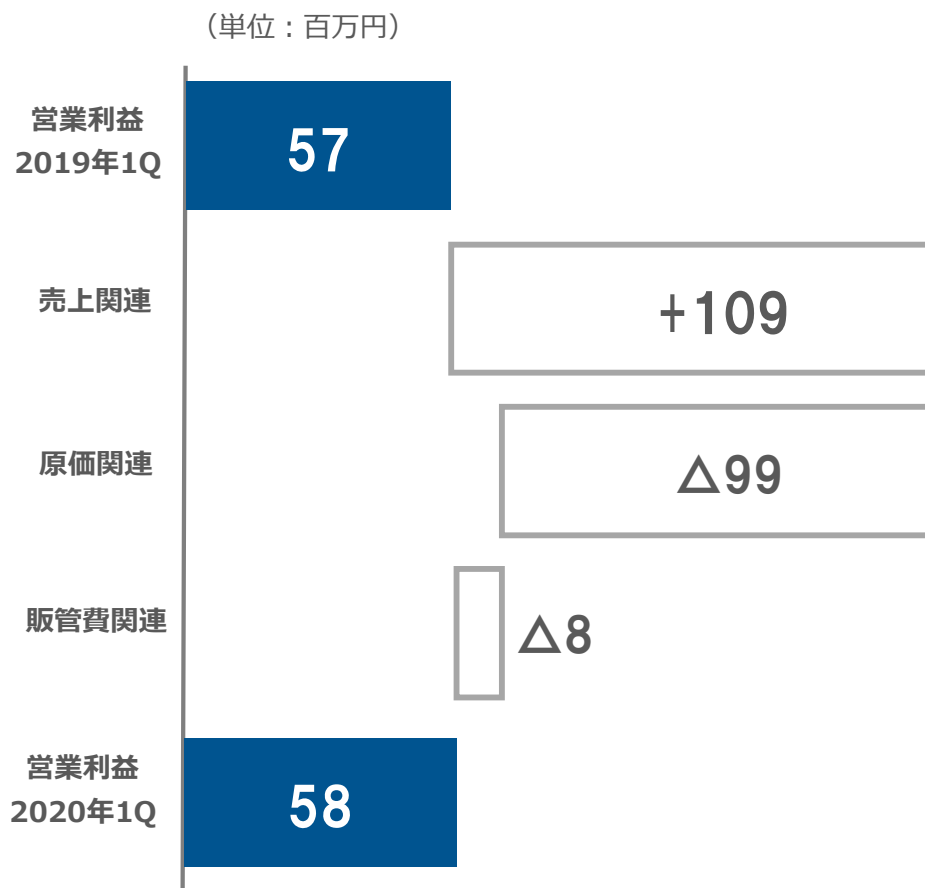
- 売上高・営業利益は、目安となる進捗率25%程度に到達
- 経常利益・最終利益は、為替影響により目安となる進捗率25%を下回る



<連結業績予想について>

新型コロナウイルスの感染拡大による2020年12月期連結業績への影響は不確実な要素が多く、その影響を現時点で合理的に見積もることは困難であるため、2020年2月6日発表の業績予想を変更しておりません。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

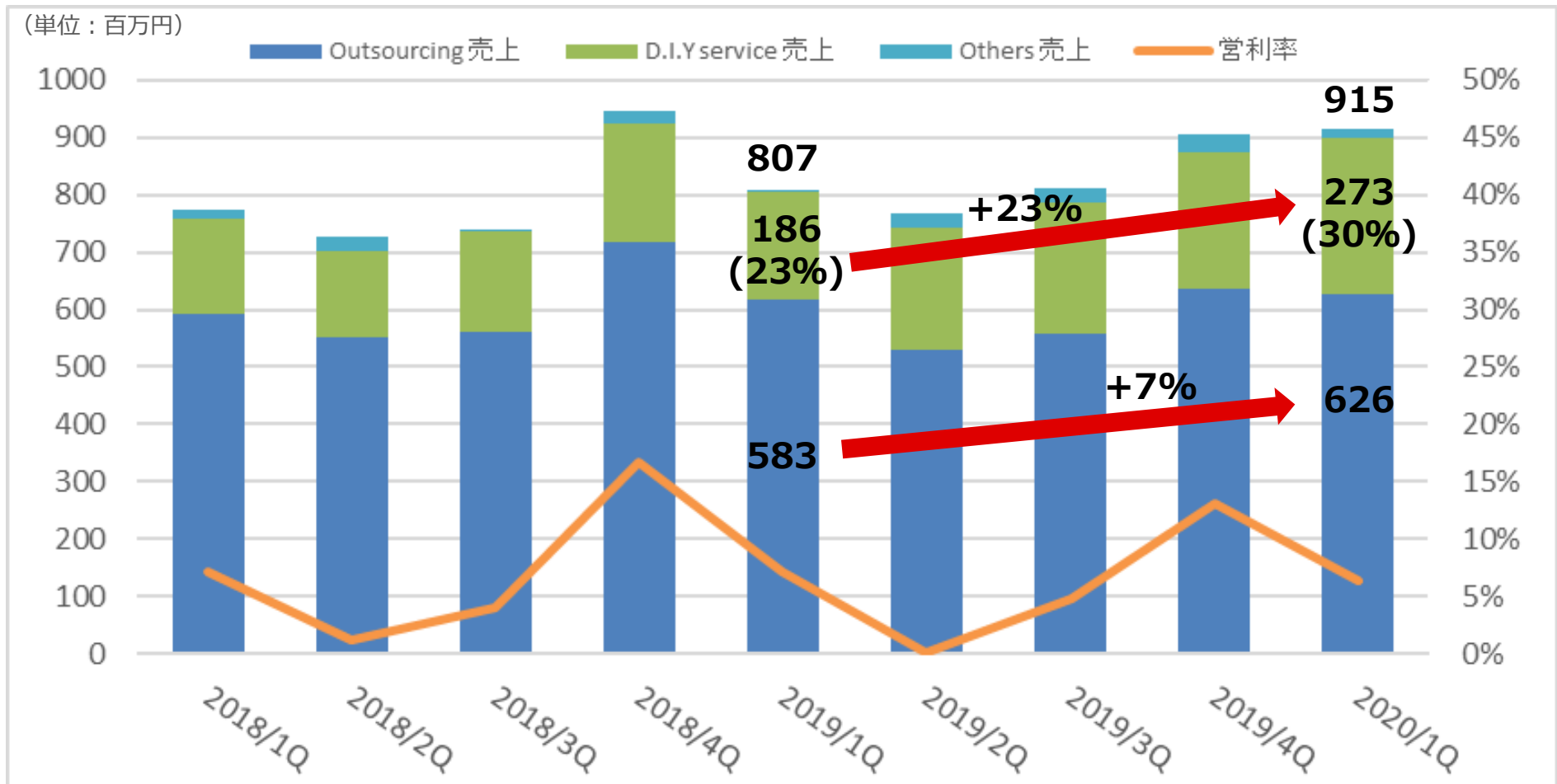
- D.I.Yサービス、国内・海外売上の継続成長により売上は増加したが、高粗利率案件の減少等により、粗利増は10百万円にとどまる
- 販管費が8百万円増加し、その結果営業利益は1百万円増加



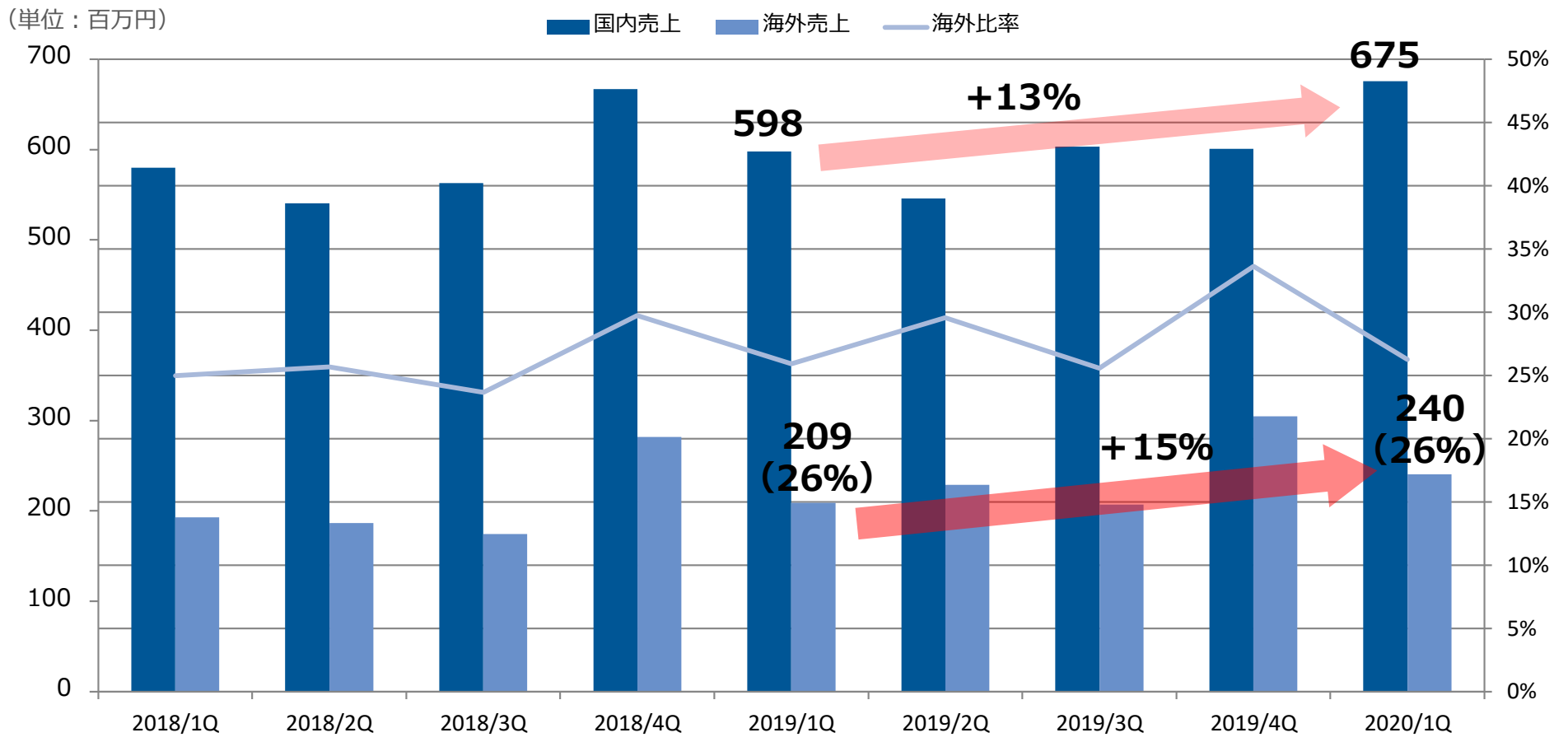
<主な増減要因>

- ・ 売上関連
国内・海外ともに売上が堅調に成長
- ・ 原価関連
粗利は10百万円増加。ただし、高粗利率案件数の減少などにより、粗利率は4.9%低下。
- ・ 販管費関連
システム整備強化やグローバル経営管理体制強化により増加。

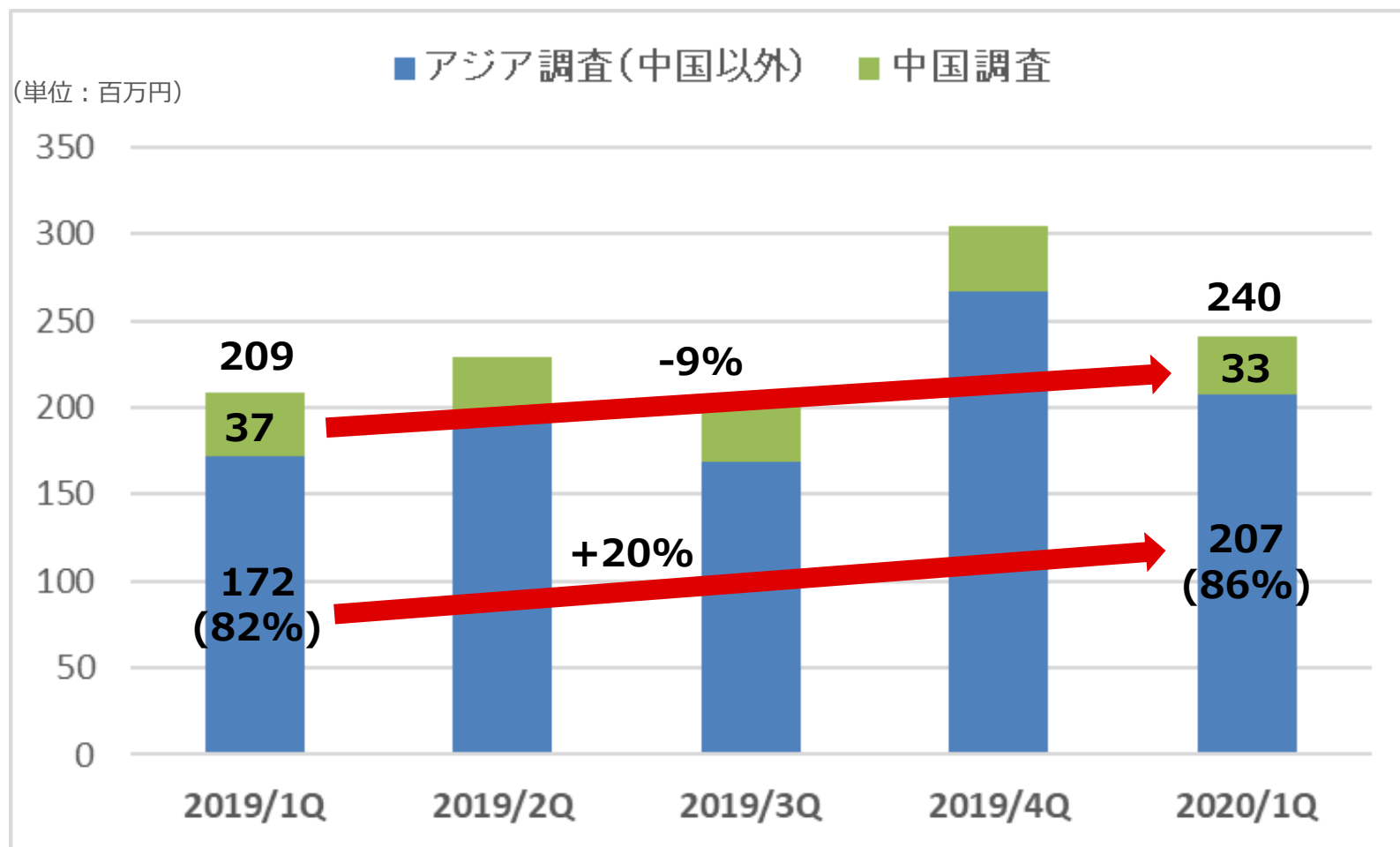
- アウトソーシングサービスは、前1Q比で7%(43百万円)増加
- D.I.Yサービスは、前1Q比で23%(51百万円)増加し、売上高全体に占める割合が30%に伸長



- 売上高は前1Q比で国内13%(77百万円)、海外15%(31百万円)成長
- 当1Qの海外売上比率は26%で、前1Q比で変化なし



- 中国以外のアジア調査は、前1Q比で20%(35百万円)増加し、海外売上高全体に占める割合は86%に伸長
- 中国調査は、前1Q比で9%(4百万円)減少。新型コロナの影響が大きい。



2 2020年 事業戦略

想いを、世界に

Engaging people around the world

GMO RESEARCH

2020年は次の2点に特にフォーカス

1. アジアシフト（特に中国以外のアジア市場に照準を当てる）
2. データシフト

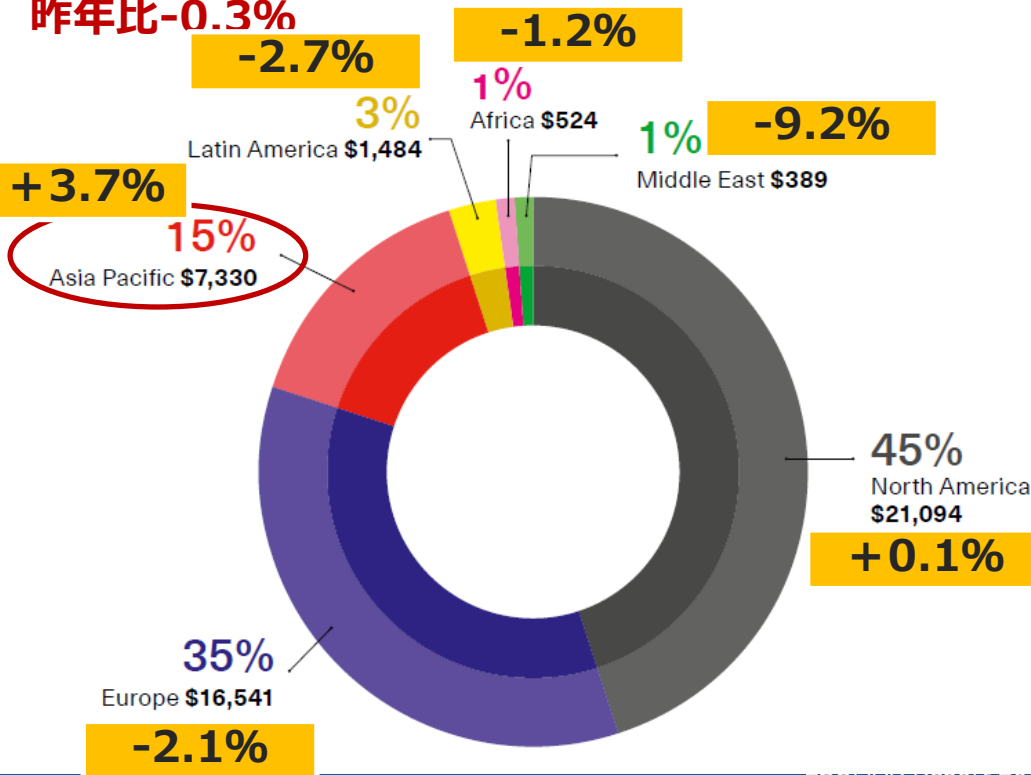
当社既存市場：
調査市場
* アジアシフト



調査周辺市場：
データ分析市場
* データシフト

世界調査市場 2018 **\$40.7B (4.4兆円)**

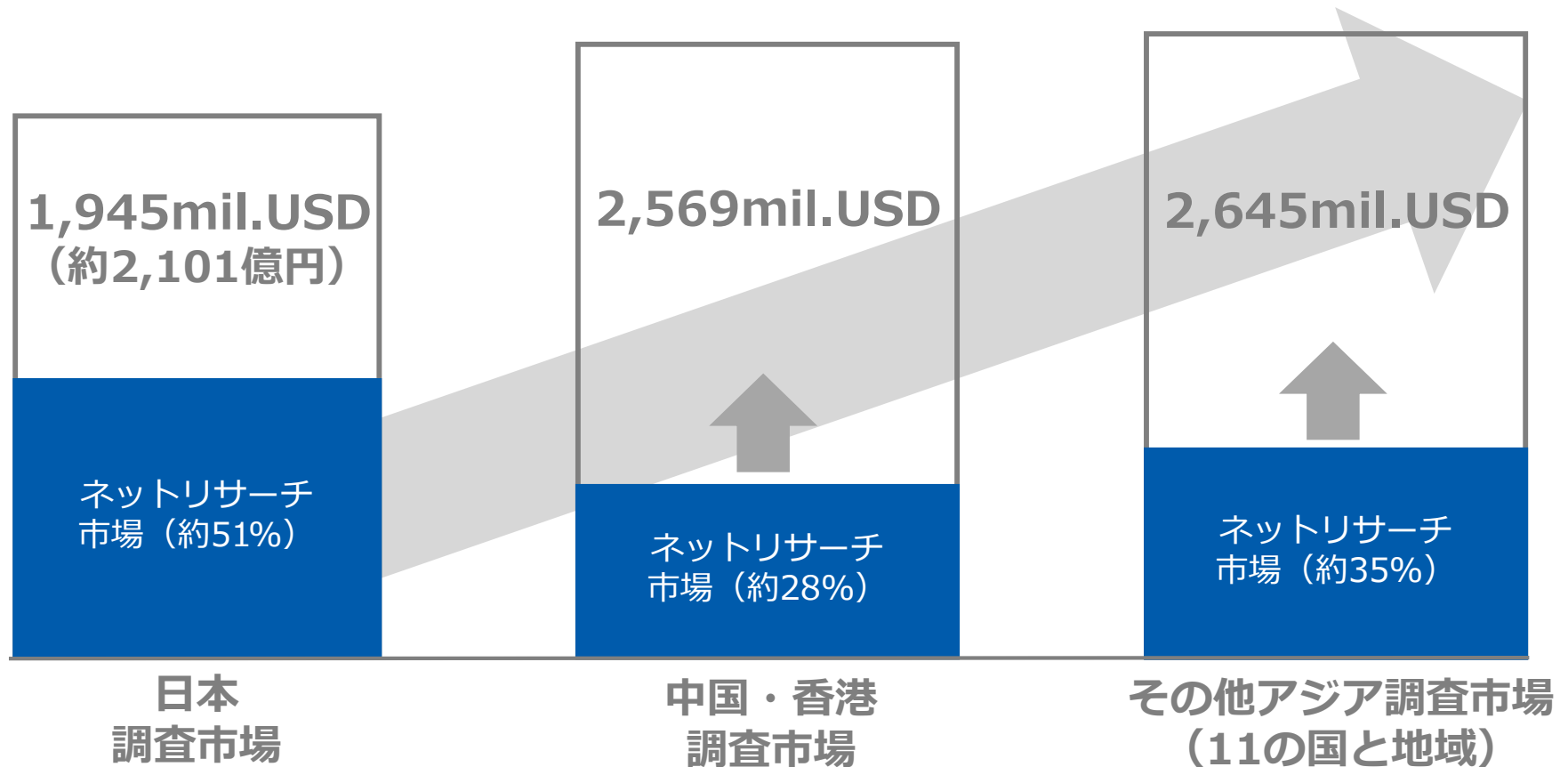
昨年比 **-0.3%**



「データ分析市場」は
39B(4.2兆円)
昨年比 **+10.3%**

当社は今後こちらの市場に展開します。

- ・アジア地域のインターネットリサーチ市場はオンライン化が進み、今後さらに拡大すると予想
- ・欧米企業と比較し、日本からのアジア展開は地理的、文化的優位性あり
- ・まだ**アジア調査**でのビッグプレイヤーは不在のため、**圧倒的No1**を目指す



2019年 ESOMAR調べ

- ・ 自社媒体を含む、**業界最大規模**のアジアパネルネットワークを構築
- ・ アジア15の国と地域 3,480万人超



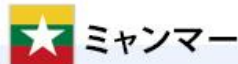
ベトナム



中国



<https://www.zcom.asia/>
(技募驿动市场调查 (上海)有限公司)



ミャンマー



<https://mm.zresearch.asia/>
(GMO-Z.com ACE Co., Ltd.)



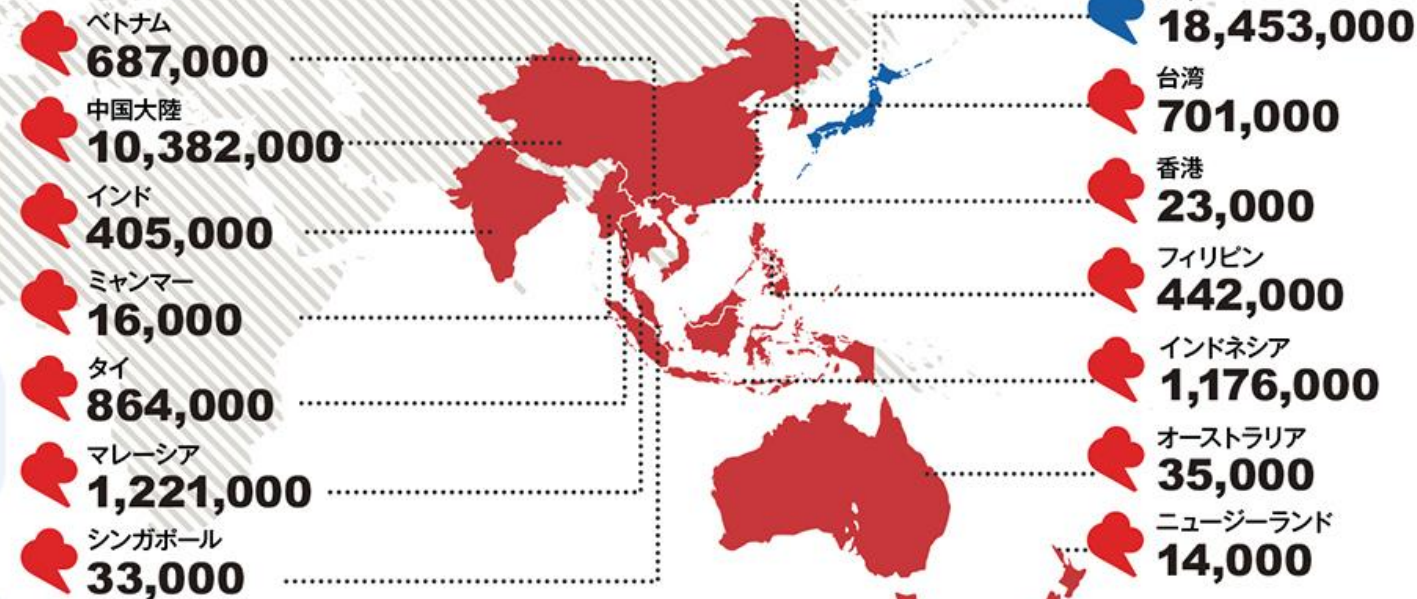
タイ



<https://research.z.com/th/>
(Net Design)

GMO RESEARCH

ASIA CLOUD PANEL

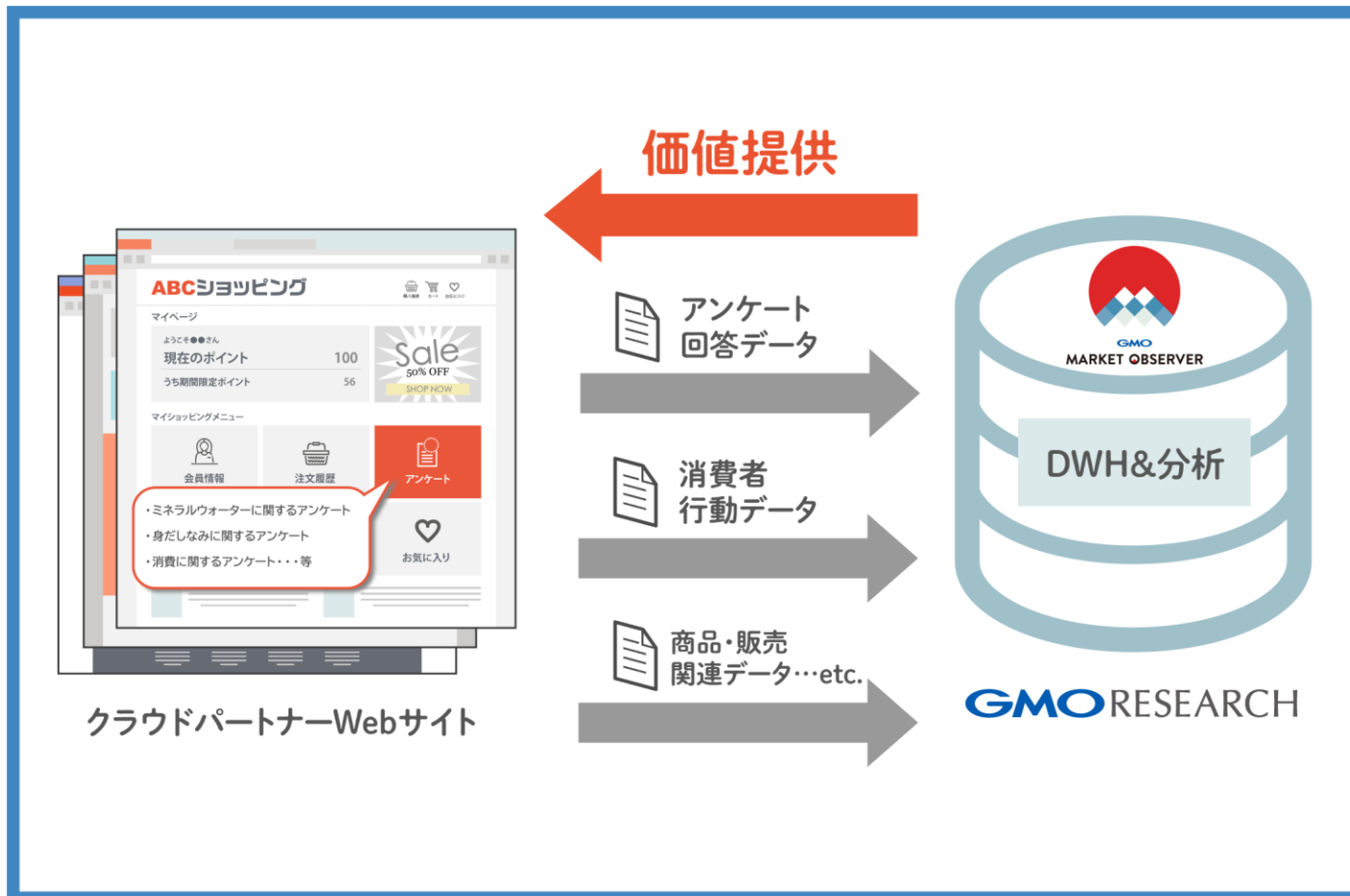


日本



2020年4月現在

当社のクラウドパネルパートナーに対して、消費者の行動履歴やアンケートからの各種データなどを幅広く収集し、パートナーのデジタルマーケティングにおける最適化を付加価値として競争力を高めるコンサルティングを提供します。
(メンバーシップ・マーケティング・ソリューション)



3 <参考資料>

- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとDIYサービス
- 新クラウドソリューションサービス「MO Insights」
- 各拠点人員数推移

サービスの名称		販売先	サービスの内容
アウトソーシング サービス	Full Service	調査会社/ 広告代理店/ コンサルティング 企業	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでのアンケート画面作成・アンケート案内配信・アンケートデータの回収・クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供します。 アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービスを提供します。(CPAT)
	Sample Supply		<ul style="list-style-type: none"> 顧客が自社内でオンラインでアンケート画面を作成している場合に、当社が回収管理を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供します。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)		インターネットリサーチにおいて、当社がサービスインフラとパネルのみを提供します。
	システム関連売上	GMO Market Observerを顧客のリサーチプラットフォームとして提供します。	
その他サービス	New MR/ コンベンショナル調査	一般企業	New MRとは、アイトラッキング調査、MROC、Scanamind（スキャナマインド*）、コミュニティといった最先端のマーケティングリサーチソリューションを提供するサービスで新たなプラットフォーム提供のための研究開発の役割を担っています。また、コンベンショナル調査は、オフライン（現場）で実施する調査手法であり、オンライン業務の更なる自動化のため戦略的に取り組んでおります。

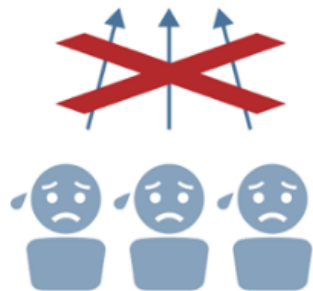
*Scanamindは、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です（登録番号第5109952号）

		アウトソーシングサービス		DIYサービス	
サービス名称		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面 作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	
	4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	
	5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

2020年3月に新クラウドソリューションサービス「MO Insights byGMO」(以下、「MO Insights」)をリリースしました。

MO Insights



- MO Insightsは、アジア15の国と地域の3,300万人を超える消費者と実際に顔を合わせることなく、オンライン上で定量・定性調査を完結することができるクラウドソリューションサービスです。
- インタビュー形式の定性調査を『MO Insights ビデオIDI』または『MO Insights ビデオチャット』の2種類の調査方法で行うことができます。
- 「MO Insights」を利用することで、これまでオフライン調査にかかっていた、インタビューを実施する会場や録画・録音機器の手配、消費者を案内するための人的リソースおよびコストを削減することができます。

各拠点における正社員数の推移

(単位：人)

	東京	下関	シンガポール	マレーシア	インド	中国	正社員合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内IP 礼管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、営業補助 国内IP 礼管理補助 その他業務補助 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 東南アジアIP 礼管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアIP 礼管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米、東南アジアPJ管理、営業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 営業 PJ管理 中国IP 礼管理 	
2017年1月1日時点	87	—	2	—	15	9	113
2017年7月1日時点	92	2	2	—	16	10	122
2018年1月1日時点	91	8	4	—	16	7	126
2018年7月1日時点	94	20	4	4	15	8	145
2019年1月1日時点	88	24	3	4	14	8	141
2019年7月1日時点	96	30	3	5	14	8	156
2020年1月1日時点	94	28	3	6	14	8	153
2020年7月1日予定	101	30	3	6	14	8	162
半期人員増減数	+7	+2	0	0	0	0	+9
補足	エンジニア強化、新卒採用など、業務委託の内製化	新卒採用など、業務委託の内製化	—	—	—	—	—

想いを、世界に

Engaging people around the world

GMO RESEARCH

本日はありがとうございました。

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。